

# 審議会等の会議結果報告

1. 会議名	令和6年度第2回松阪市子ども発達総合支援センター経営評価委員会
2. 開催日時	令和6年12月6日(金) 午後2時から午後3時30分
3. 開催場所	松阪市下村町875番地1 松阪市子ども発達総合支援センター 多目的室1
4. 出席者氏名	(委員) 梅村恵理、○八田久子、後 建夫、谷口 壽、 ◎佐藤祐司、澄野久生、小泉明弘 (◎委員長 ○副委員長) (事務局) 西浦美奈子こども局長、荒木章次子ども発達総合支援センター所長、鈴木真喜同副所長、竹井順子療育支援担当監、藤田明子育ちサポート担当監、佐波由之療育支援担当主幹、本田めぐみ育ちサポート担当主幹
5. 公開及び非公開	公開
6. 傍聴者数	0人
7. 担当	松阪市下村町875番地1 松阪市健康福祉部こども局子ども発達総合支援センター 担当者：鈴木 電話：0598-30-4411 FAX：0598-30-4433 E-mail：kod.dev.c@city.matsusaka.mie.jp

## 事項

### 1. 挨拶(省略)

### 2. 議事

#### (1) 令和5年度 サービス提供自己評価結果について

- ①児童発達支援事業
- ②放課後等デイサービス事業
- ③保育所等訪問支援事業
- ④障害児相談支援事業
- ⑤発達に関する相談支援事業関係

#### (2) 令和5年度 経営評価シート(事業実施関係)について

#### (3) 国のガイドライン改定等に伴う第3期経営計画書「評価表」等の修正案について

- ①主な変更点
- ②改定の経過
- ③保護者による評価表
- ④職員による自己評価表
- ⑤訪問先施設による事業所評価表
- ⑥事業所による自己評価総括表
- ⑦経営評価シート(事業実施関係)
- ⑧経営評価シート(事業実施関係)評価基準

### 3. その他

保護者による満足度と重要度調査

## 議事録

別紙「令和6年度第2回松阪市子ども発達総合支援センター経営評価委員会議事録(要約)」  
のとおり

## 令和6年度 第2回 松阪市子ども発達総合支援センター経営評価委員会 議事録〔要約〕

日 時：令和6年12月6日（金）14:00～15:30

場 所：子ども発達総合支援センター 多目的室1

出席委員：梅村恵理、八田久子、後 建夫、谷口 壽、佐藤祐司、澄野久生、小泉明弘

欠席委員：小泉恵希、加藤知孝

事務局：西浦美奈子こども局長、荒木章次子ども発達総合支援センター所長、鈴木真喜子子ども発達総合支援センター副所長、竹井順子療育支援担当監、藤田明子育ちサポート担当監、佐波由之育療育支援担当主幹、本田めぐみ育ちサポート担当主幹

配付資料：

- ・ 令和6年度 第2回松阪市子ども発達総合支援センター経営評価委員会事項書
- ・ 松阪市子ども発達総合支援センター経営評価委員会委員名簿
- ・ 令和5年度 サービス提供自己評価結果について
  - ① 児童発達支援 【資料1】
  - ② 放課後等デイサービス 【資料2】
  - ③ 保育所等訪問支援事業 【資料3】
  - ④ 障害児相談支援事業 【資料4】
  - ⑤ 発達に関する相談支援事業関係 【資料5】
- ・ 令和5年度 経営評価シート（事業実施関係）について 【資料6】
- ・ 国のガイドライン改定等に伴う第3期経営計画書「評価表」等の修正案について
  - ① 主な変更点 【計画-資料1】
  - ② 改定の経過 【計画-資料2】
  - ③ 保護者による評価表 【計画-資料3】
  - ④ 職員による自己評価表【計画-資料4】
  - ⑤ 訪問先施設による事業所評価表 【計画-資料5】
  - ⑥ 事業所による自己評価総括表 【計画-資料6】
  - ⑦ 経営評価シート(事業実施関係) 【計画-資料7-1】
  - ⑧ 経営評価シート(事業実施関係)評価基準 【計画-資料7-2】
- ・ 保護者による満足度と重要度調査 【計画-資料8】
- ・ 当日配布資料 子ども発達支援センター評価案検討における意見書

〔議事録（要約）〕

### 1. 挨拶

【司会】

それでは皆様こんにちは。定刻となりましたので、ただいまから令和6年度第2回松阪市子ども発達総合支援センター経営評価委員会を開催させていただきます。本日はご多忙のところ、当委員

会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

それでは、お手元の事項に事項書に基づき進めさせていただきます。事項書「1.挨拶」につきまして、健康福祉部こども局長西浦より皆さまに一言ご挨拶を申し上げる予定でございましたが、急な公務の都合により、現在こちらに向かっている状況でございます。大変申し訳ございませんが、挨拶は割愛させていただきます。

現在、ご出席いただいております委員様は、7名でございます。当委員会規則第6条第2項の規定を充足しておりますので、本日の委員会が成立していることをご報告申し上げます。

それでは、事項書「2.議事」に移らせていただきます。この後は、当委員会規則第6条により、委員長が議長となります。佐藤委員長よろしくお願いたします。

## 2. 議事

### 【議長】

皆さん改めましてこんにちは。この委員会は、「審議会等会議の公開に関する指針及び運用指針 3.会議の公開の基準」に基づき、原則公開の立場をとっておりますのでよろしくお願いいたします。

議事に入ります前に、一言申し上げたいと思います。私は松阪市総合計画評価委員にも携わらせていただいております。そちらでも発言させていただきましたが、今日の事項書の一番下に「保護者による満足度と重要度調査」を用意していただいております。このそだちの丘も、量的なことはもちろんですが、より質的なことへの評価、質的な充実というものを図っていく必要があるのではないかと考えております。本日、ご説明いただきますけれども、ぜひ委員の皆さんにおかれましては、このそだちの丘をより良くするために、いろいろとご意見をいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、お手元の事項書に沿って進めてまいります。事項書「2.議事」「(1)令和5年度サービス提供自己評価結果」につきまして、①児童発達支援から⑤発達に関する相談支援事業関係まで、事務局よりまとめて説明をお願いしたいと思います。

なお本日、委員から、「意見書」を配付いただいておりますので、こちらの内容につきましては、事務局の説明の後にお話しいただきたいと思います。では事務局、よろしくお願いいたします。

### (1) 令和5年度 サービス提供自己評価結果について

- ① 児童発達支援【資料1】
- ② 放課後等デイサービス【資料2】
- ③ 保育所等訪問支援事業【資料3】
- ④ 障害児相談支援事業【資料4】
- ⑤ 発達に関する相談支援事業関係【資料5】

### 【事務局】

- ❖ 【資料1】～【資料5】について説明。

【議長】

はい、ありがとうございます。ただいま、【資料1】から【資料5】をもとに、第2期計画で進めてきた様々な事業に関する振り返りの結果を報告いただきました。本件につきまして、何かご質問あるいはご意見があればいただきたいと思っておりますけれども、いかがでしょうか。

【委員】

非常災害の発生等について、これは前年度の状況ですので、取り組まれているということで結構だと思いますが、これからの観点といいたししょうか、今年、南海地震の発生等が予測されてという観測が出ていましたね、1週間ぐらい。私も旅行の計画を中止したということもあるものですから。世の中、特にこの東海地域はこういうことが多くなってくる、確率が高いと言われていています。そこで、これからのことなんですが、産業界や他のところでも、事業継続力強化というか、一般的にBCPと言われるビジネス・コンティニュティ・プラン、非常時にどうすべきかということについて、あらかじめこの項目はこうしようと大筋を定める取り組みを始めている状況もごございます。そこで、この施設は非常に安全な場所にある感じですが、そういった計画がどういうものかということについて、幹部の方が内容を把握していく段階で進められてはいかかかなと感じました。感想です。

【議長】

はい、ありがとうございます。ただいま、事業継続計画に関するお話をいただきましたけれども、この点について、事務局は、現時点で何か回答できることはありますでしょうか。

【事務局】

ありがとうございます。この施設は、いわゆる児童福祉の通所サービス事業所であるとともに、市役所の一組織一施設でもございます。福祉施設としての業務継続計画については義務化されておりますし、松阪市の組織としてのBCP計画も策定を求められておりますので、策定し、職員への浸透を図っております。ただ、ここは市の施設でございますため、市のBCPにおきましては、福祉避難所という位置付けをされております。ですので、もし発災とか大規模災害があった場合、24時間以内に何をやる、そこから本来の業務でいくか、復旧するまで何をやるかといったところを時間軸で想定する中では、避難所の運営があってその先に通常業務があると考えております。

【議長】

はい、ありがとうございます。他に、議事(1)につきまして、ご質問等ございませんでしょうか。

では続きまして、「議事(2) 令和5年度経営評価シート(事業実施関係)」につきまして、事務局からご説明をお願いします。

(2)令和5年度 経営評価シート(事業実施関係)について 【資料6】

【事務局】

❖ 【資料6】 について説明。

【議長】

はい、ありがとうございました。ただいま【資料6】をもとに、令和5年度経営評価シートの事業実施関係について説明いただきました。特に、良くなったところと悪くなったところを中心にご説明いただきましたが、ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等ございませんか。

【委員】

はい、すみません。気象警報が発表されたときのルールについて、作られているのか、作られているのであればそれはしっかりしたものなのか、ただ単に自分たちだけで決めただけのものなのか。そして保護者さん、利用者さんにどの程度伝わっているのか。気象警報の点と、きちんと伝わっているかという点、また南海トラフの注意警報が発表されたとき、今回初めてのケースだったかと思いますが、利用者さんの混乱や問い合わせがどんな状況だったかについてお聞かせ願いたいと思います。

【事務局】

当センターは午前と午後の二部制の療育となっております。その中で、警報発令した場合には、午前は8時、午後は12時の時点で、午前の部午後の部それぞれ中止とさせていただきます。お知らせの方法につきましては、保護者の方々に配信アプリを導入していただいておりますので、それを配信し、導入されていない方については、電話にて個別にご連絡をさせていただいている状況です。それから、南海トラフの警報は確か注意報で、注意報自体も初めて発表されることだったので、何名かの方からは開設していますかというようなお問い合わせがありました。そこまで混乱はなかったと感じております。

【委員】

はい、ありがとうございます。放課後児童クラブを所管しているのですが、結構問い合わせがあったので、どうだったのかなと思ってお聞きしました。

【議長】

はい、ありがとうございました。他にご意見、ご質問等ございませんでしょうか。

では、続きまして「議事(3) 国のガイドライン改定に伴う第3期計画書『評価表』等の修正案について」、修正があったところを中心にご説明いただければと思います。では事務局、よろしくお願ひします。

(3) 国のガイドライン改定等に伴う第3期経営計画書「評価表」等の修正案について

- ① 主な変更点 【計画-資料1】
- ② 改定の経過 【計画-資料2】
- ③ 保護者による評価表 【計画-資料3】
- ④ 職員による自己評価表 【計画-資料4】

- ⑤ 訪問先施設による事業所評価表 【計画-資料 5】
- ⑥ 事業所による自己評価総括表 【計画-資料 6】
- ⑦ 経営評価シート(事業実施関係) 【計画-資料 7-1】
- ⑧ 経営評価シート(事業実施関係)評価基準 【計画-資料 7-2】

【事務局】

❖ 【計画-資料 1】～【計画-資料 7-2】について説明。

【議長】

はい、ありがとうございます。ただいま、事務局から議事(3)につきまして、【計画-資料 1】から【計画-資料 7-2】に基づいて説明がありました。たくさん資料をいただいておりますが、基本的に【計画-資料 2】はいわゆる新旧対照表で、【計画-資料 3】から【計画-資料 6】につきましては、新しく出た、あるいは新規に策定されたガイドラインをもとに従来あったものをリファインしたというような資料となっているわけです。そこでまず、ただいまの事務局の説明につきまして、ご質問等あればいただいて、その後に委員からいただいた意見書についてお話を伺いたいと思います。まず、ご質問等ございませんでしょうか。よろしいですか。

では私から1点お尋ねいたします。【計画-資料 3】以降の資料は、従来あったものにガイドラインをもとに修正を加えたものとなっておりますが、基本的に、保護者向けであれ、事業所向けであれ、訪問先であれ、ある意味、絶対評価みたいなものになっているのかなと思います。一方で、例えば【計画-資料 3】の1ページの設問1と2のように、『スペースが十分に確保されているか』とか、『職員の人数は適切であるか』というのは、コストをかければ幾らでも広いスペースは用意できるし、関わる人数も増やせる、いわゆるシーソーみたいなもので、あちらを上げればこちらが下がるという内容です。この辺りの、特に「保護者向けの評価表」の工夫ということでお尋ねしたいんですが、例えば、『コストをかけてでもスペースを広くしたいか、否か』、あるいは『コストをかけてでも職員数を増やすか、増やさないか』といった、いわゆるコストパフォーマンスを問うような質問をすることはできないのかなと思いつつ今までずっと見ていました。この点、どうお考えでしょうか。

【事務局】

はい、ありがとうございます。設問自体は、先ほど申し上げたとおり、ガイドラインに準じたものでございますが、『コストをかけてまでやるかどうか』というところは、保護者の方になかなか聞きづらいというのが正直なところだと思います。おそらく、広い方がいいし、職員はたくさんいて利用機会が増えればいいなというところかと。その辺りは、評価表の「ご意見」でいただいて、その中で、我々が今できることは何か、最大限考えられるところをご提示、ご提供していきたいと考えております。

【議長】

はい、ありがとうございます。少し言葉を選ばずに言うと、やはりそのあたりのことを利用者の方によく理解していただくことはとても大事だと思うんです。つまり、資源が無尽蔵にあるわけではなく、だけど最低限これだけはやらなきゃいけないというガイドラインもあり、ある種、職

員の方々は使命感すらお持ちだと思いますから、そのあたりをやはりよく知っていただく、ご理解いただくということも大事なことだと思います。この質問の中に盛り込みにくいという話はよくわかりましたけれども、できればそういったことをご理解いただけるような機会があればいいなと思いました。

他に、この議事(3)につきまして、ご意見、ご質問ございませんでしょうか。

では、何かありましたらまた後程おっしゃっていただくとしまして、本日お手元にお配りしました「意見書」をもとに、ご提出いただいた委員に説明をお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

#### 【委員】

今回の改定の内容について、私は、概ね理解し、了解というか、異論のないところですが、個々に少し気づいた点を、この意見書にまとめて記載しましたので説明いたします。

まず、この計画書の改定にあたって、今回【計画-資料2】「第3期経営計画書の改訂について」をいただきましたが、これを計画書のどの部分にどのように表記するのかな、どの辺りに挿入していくのかなと感じました。本編の中のどこかの部分、すでに既設の記載に続いて併記する。あるいは改定部分だけを完成形として、改訂に対して注記マークをつけてこういう改定だとするとか、どう表記したらわかりやすいのかと考え、「意見書」の3の(4)に、どこに入れるかという案を記載しました。計画書本編の第1章の第3節の後段に追加したらいいのか、あるいは、第1章の第4節として独立して記載するという方法もあるかもしれない。この場合、【計画-資料2】の「1 改定の経過」は併記する、「2 策定・改訂の履歴」は後方に記載する。あるいは「1 改定の経過」と「2 策定・改訂の履歴」を一体化して、もうちょっと整理した方がわかりやすいのかなという感じがしました。または、計画書の本編の補遺というか、規則等の一番最後に、この規定は何月何日から実施するかをまとめて記載するようなやり方があるんですが、そんなふうに整理する。年月が経つと、現状現行の内容がどうなっているかということは下に整理されているほうがわかりやすいのかなという考え方もございます。このあたりをどのようにされるかは、事務局にお任せしますが、いずれにしても、もう少しうまくまとめていただければいいのかなと思います。

少し前後しますが、【計画-資料2】の1ページの、上の真ん中あたりにあります「(平成29年7月策定) 児童発達支援ガイドライン」については、一般的には逆で、従来の通知等も「児童発達支援ガイドライン(平成29年7月策定)」と書いてありますので、その記載に統一したほうがいいと思いました。

次に、改訂版策定に伴って確認したいと思ったのが、「第三者評価」についての質問です。最近、福祉サービスを実施している事業所に対して、国が第三者評価を求めているように私は受け取っているんですが、当経営評価委員会がその第三者評価に該当する委員会なのか。当委員会では色々な事業の評価をしていますが、それは国が求めている評価に該当すると言えるのかどうかというところなんです。あるいは、将来的に、こういう第三者評価を事業形態で行っているところに委託して実施していく方針なのか、今後の取り組み方としてそういった考えがあるのでしょうか。

それから、計画書の23ページに「サービス評価検討会の設置」と書いてあります。このサービス評価検討会というのは、当センターの組織内の検討会を示していると思いますが、今年の3月の計

画書策定において、以前の計画案の中には別の図案もあったかと思いますが。その図では、評価の流れの中で経営評価委員会の役割などがわかりやすかったのですが、現行の25ページの図は、Checkという四角の中にサービス検討委員会と書いてあり、この施設内の組織で評価するという内容で同じだとは思いますが、Checkの欄が小さくなってしまったので、この経営評価委員会がその内容を見てどうするか、実際行う具体的な内容がちょっと見えない。PDCAのサイクルを回すというのは大きな字で書いてあって、それはそれで重要なんですが、具体的な内容をもう少しわかりやすくしたらどうかという感想です。矢印のマークで書いてあるように、PDCAの枠が強調されて、Checkの欄が小さくないでしょうか。

それから、事業所内の評価について、サービス評価検討委員会のメンバーが、どんな組織でどうするのか。例えば、10ページに職員配置として所長、副所長という並びがあり、事業内容ごと、部門ごとに監理者、療育支援担当監といった所属長のような立場の人が書いてあります。この計画書では表現されてなくてもいいのかもしれませんが、委員長がおっしゃられたように、質的に高めていくことに対して、人人体制というか組織体制がどうあるのか、内部的にどのように質を高めようとしているかが見えてこないという感じです。施設の組織が機能を十分発揮できるようになっているかを知りたいわけで、それに対して、そのように動くのであればきちんと機能するだろうということを我々第三者というかこの経営評価委員会が理解しておきたいと思っています。その下も同じことで、具体的な取り組み内容と、その責任権限、役割とかですね、こういう計画は、どういう経験者、あるいは能力というか、技術力というか、そういう力のある方がこうするから大丈夫だというものであり、そのあたりを明らかにすることも望ましいのではないのでしょうか。

それから、計画書の「第3章 経営計画、第1節 ⑥利用者コストの減」についてです。『本センターは不採算事業であることから…』云々というくだりですが、計画書を作る時に、他の部分で『営利目的としていない事業体である』とか何かそういう表現に変えたかと思いますが、この部分は修正漏れではないかと感じました。この施設で生産しているのは何かというと、児童発達支援サービスを提供することによって今まで出来なかったことが出来るという、無形の形で人の能力を高めていくということであり、非常に価値のあることなんですね、社会的な価値が。社会的な価値を経済的価値で図ることは難しいので、一概に不採算事業と書いてしまうのはどうかと前から思っていました。そこで私は修正したらどうかと言った覚えがあります。

それから訪問先との関係なんですが、この訪問先から評価をいただくというのは今回からです。訪問先が毎日というか、定期的にやっているのであれば、年間を通して年度の最後の方で評価を書いてもらうということでもいいと思いますが、ポツンポツンとしか訪問していないのであれば、例えば今年の春頃に訪問しましたよね、五、六ヶ月前ですよという状況で評価表を書いてくださいとなると、どうだったかなと印象が薄れてしまってから記載することになり、なかなか大変であるし、適切な回答は返ってくるのかなと感じます。訪問先からの評価に関しては、適当な時期に行うのがいいのではないかと思いました。

それから、17ページに、「事業の重要度優先度を『図ります』」とありますが、事業の優先度を見て、何とか目標に近づくように取り組みを『図ります』ということでしょうか。目的の内容が何かわからないと思いました。

それから経費の削減についてですが、21ページに、「コスト削減」と書いてあり、コピーの枚数を



減らすとかで、それは非常にわかりやすいですが、コントロール可能かどうかで考えると、コントロールできない人件費とか、傷んでいたら直すしかない設備の管理費とかがあります。経費の中でどういう要素を対象とし、費用対効果、取り組む労力とそれを実施することによって削減できる効果を考えて、コスト削減を進めたらいいと思います。コピーカウントの前年対比5%減がどれだけの経済効果があるのかわかりませんが、もう少し削減項目、これを削減したらもう少し大きめの削減効果があるということを吟味されてはどうかと思います。以上、報告いたします。

#### 【議長】

はい、ありがとうございます。ただいま、「子ども発達支援センター評価案検討における意見書」をもとに、質問あるいはコメントをいただきました。内容は非常に盛りだくさんでしたけれども、事務局の方で、1つ1つ、説明あるいは回答をお願いしたいと思います。

#### 【事務局】

ありがとうございます。

まず、本編の改定の部分につきまして、もう少し整理をしてわかりやすくまとめてはどうかというご意見いただきました。こちらにつきましては、事務局の方で検討させていただきたいと思っております。

それから、経営計画書の25ページのPDCAの図でございます。この図の「C」にありますサービス検討委員会でございますが、委員がおっしゃられたとおり、内部の委員会であり、各職種、それから副所長はじめ、いわゆる管理職等々が入る会議を月2回開催しております。サービスの検討、保護者の方からのお話やこれからどのように進めていくかというようなところも含めまして、検討委員会とさせていただきます。その中で、アンケート結果、評価表についての分析もしています。25ページの図につきましては、PDCAサイクルを回すというところをアピールしましたので、そこが大きくなってございますが、「C」チェックとは、これらを実施しているというところでご理解いただきたいと思っております。

訪問先のアンケートは、今回から実施するものでございますが、お1人のお子さんにつき、複数回、数ヶ月訪問するという場合もございますし、1つの施設で複数のお子さんを訪問することもございますので、アンケートの集計回収方法については検討させていただきたいと思っております。

福祉サービスの評価についてのご質問につきましては、国は、いわゆる第三者評価を努力義務としており、この経営評価委員会は、国が定める第三者評価機構ではございません。センターの評価をいただく機関として、毎年毎年、評価やご意見をいただいております。我々もその都度、改善に向かってござります。

保護者の評価の中で、事業の重要度優先度をどのように図るのかというご質問につきましては、やはり我々の思っている優先度と保護者の方のニーズが一致しているのか、それともイコールではないのかをはかるものとして、この評価表とは別のアンケートを考えているところでございます。

#### 【委員】

「重要度優先度を『図ります』』というのは『測定します』という意味なのでしょうか。『図る』と

は、何か計画に従って『図る』というか、意図をしてこういうことを達成していきますという意味だと思います。重要度優先度というのは、程度を言うわけですね。程度というかそういうものを比較するという、それを『図る』というのが理解できなかったんですけど。

【事務局】

保護者の重要度優先度を『はかる』という点につきましては、我々も知りたいところがございましたために、【計画-資料8】で、この後ご説明させていただきたいと思います。

【委員】

その『はかる』と言うのは、測定する、どんな状況かを調査する、そういう意味であれば、この『図る』という字が違うのではないかと思うのですが。

【事務局】

はい、すみません。誤字でございますので修正いたします。

【議長】

他の点、よろしいでしょうか。では、「議事(3)」につきましては、何か思いつかれたことがあればまた後程伺いたいと思います。ただいま、お話もでていました事項書「3.その他」保護者による満足度と重要度調査に関して、事務局、説明をお願いできますでしょうか。

### 3. その他

保護者による満足度と重要度調査 【計画-資料8】

❖ 【計画-資料8】について説明。

【議長】

はい、ありがとうございます。ただいま【資料8】をもとに、保護者による満足度と重要度調査を行うというご説明をいただいたわけですが、本件につきまして、ご意見ご質問あればいかがでしょうか。

【委員】

これですね、仮定の話ですけど、あまりよくわかってないと、もうみんな普通というところで「3」にチェックをされると、どこが重要か、あるいは満足しているかというのが、あまり結果として出てこないということも考えられる。あるいは、その回答者ごとに優先度が違うかもしれない、満足度も違うかもしれない。そういうこと考えると、これもこれでいいと思いますが、この1から23の項目について例えば「上から5つ選んでください」とか、「10個順位をつけてください」とか、そういうやり方もあるのではないかなど。人ごとにどういう点数つけたかを見れば、点数が明らかに違って来る、人によって差が出る可能性もあるなと思いますが、いかがでしょうか。

【議長】

はい、ありがとうございます。ただいま、回答の方法についてご意見があったわけですが、事務局、いかがでしょうか。

【事務局】

ありがとうございます。この23項目について、上位10個を選ぶという方法もあるのではないかとご意見をいただきましたが、それぞれの設問において、満足度と重要度の2項目を聞いておりますので、それぞれ「満足と重要」とか、「不満と重要でない」とか、多分組み合わせがいろいろ出てくるのかなと思っています。保護者によって、それぞれこの2項目の組み合わせで、評価もできるのではないかと思います、こういった1つの質問に2つの答えを得たいと考えているところでございます。

【議長】

はい、ありがとうございます。そうですね、社会調査士という資格があるんですが、私は、一応、専門社会調査士という資格を持っていて、こういう調査の方法に関して話しだすと、多分90分授業が5回くらい必要なので止めておきますが、なかなか難しいですね、どういう聞き方がいいのかというのは。ただ、多くの方に答えていただくマスな調査ということなので、こういう5件法、できれば点数の高い方が褒められることが多いので、1から5を逆にした方がいいのかなと思いますが、5件法でまとめるというのは、苦肉の策と言っていいぐらいで、本当は別な聞き方をしたいんですけど、短時間でできるだけ保護者の方が考えていることを端的に掴むという意味ではこういうやり方で致し方ないのかなという気がします。それで一度やってみて、やはりこれではうまく掴めないとか、あるいはただいま委員がおっしゃったような、特に大事なところ5つ、あるいは特に満足しているものを選んでくださいというのがいいというのであれば、また次回改めればいいことだと思います。事務局とかセンターが考えておられることと、保護者、利用者の方との意識のギャップを把握できれば、この調査、アンケートの目的を達するわけですから、まずは一度これで進められたらいいのかなと思います。

他に、この【計画-資料8】に関して、ご意見ご質問ございませんでしょうか。

【委員】

これでわかることが、たくさんあると思うんですけど、本当に中身まではわからないので、一言書き込みができることを設けたらどうかなと思います。

【議長】

はい、ありがとうございます。今おっしゃられたのは、各設問に関して、自由回答欄みたいなものを設けるということでしょうか。

【委員】

全体に対してです。満足とか不満とか回答されたことについて、一言書き込みができるところが

あったらいいかなと思います。

【議長】

はい、ありがとうございます。ではそれぞれ末尾に、自由回答欄を設けていただくといいかなと思います。

他にいかがでしょうか。先ほどご議論いただきました「議事(3)」についてでも結構です。よろしいですか。

〔発言者なし〕

はい、ありがとうございます。では、以上をもちまして、本日予定しておりました議事は終了ということになります。残りの進行につきましては、事務局お願いいたします。

【司会】

はい、ありがとうございます。長時間にわたりましてご審議いただき、ありがとうございます。議事進行につきましてもご協力いただき、重ねてお礼申し上げます。

引き続き、事項書「3.その他」でございますが、今後の日程について説明をさせていただきます。本日ご提案いたしました「第3期経営計画書『評価表』等修正案」につきまして、皆様からたくさんいただきましたご意見を事務局で整理させていただき、委員長にもご確認の上、もう一度、皆様に郵送でお配りさせていただきたいと思っております。それでよろしければご承認ということで、改めて、正式な第3期経営計画書の改訂版を策定させていただいて、ご送付をさせていただきたいと思っております。それでよろしいでしょうか。

〔異議なし〕

ありがとうございます。では改訂版計画書ができましたら、印刷の後ご送付をさせていただく予定でございますのでよろしくお願いいたします。あと1点、先ほどの利用者の方へのアンケートと満足度重要度調査でございますが、こちらは、例年1月から、本年度について翌年の1月から3月で実施しております。今現在準備を進めているところでございますが、本日いただきましたこの利用者アンケート・評価表については、基本的にこのままとさせていただき、重要度満足度調査につきましては自由回答欄を設けるところを変更して進めさせていただいてよろしいでしょうか。

〔異議なし〕

はい、ありがとうございます。では、そのようにさせていただきます。他に、日程以外のこと、またそれ以外のことにつきまして、ご質問等ございますでしょうか。

〔発言者なし〕

はい、ありがとうございます。それではこれもちまして第2回経営評価委員会を終了いたします。本日はお忙しい中ご出席いただきまして、ありがとうございました。お気をつけてお帰りください。